

中小企業景況調査報告書

2026年7～9月期実績
2026年10～12月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

- ①調査対象時期：2026年7～9月期の実績及び2026年10～12月期見通し
②調査期間：2026年8月19日～9月3日 ※調査時点は2026年9月1日

(2) 調査方法

- ①商工会の経営指導員等による訪問面接調査
②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

- ①人口 ～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別
枝幸町、安平町、鹿追町、弟子屈町
②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町
③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ、音更町

(4) 回答企業数

業 種	調査企業数	回答企業数	回答率	業 種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	48	48	100.0%	小売業	86	86	100.0%
建設業	51	51	100.0%	サービス業	115	107	93.0%
				合 計	300	292	97.3%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。
例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況（前年同期比、前期比の推移） ※D I 値のみ

業 種	前年同期比		前 期 比					
	今期	来期 見込	R7. 7-9	R7. 10-12	R8. 1-3	R8. 4-6	今期	来期 見込
製造業	▲ 16.6	▲ 16.6	▲ 24.4	▲ 10.7	▲ 26.1	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 16.6
建設業	▲ 15.7	▲ 13.7	0.0	▲ 5.9	▲ 19.1	▲ 27.5	▲ 15.7	▲ 5.9
小売業	▲ 20.9	▲ 27.0	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 29.7	▲ 31.8	▲ 21.0	▲ 25.0
サービス業	▲ 19.6	▲ 20.6	▲ 18.3	▲ 21.7	▲ 28.2	▲ 27.6	▲ 15.9	▲ 19.7

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7. 10-12	R8. 1-3	R8. 4-6	今期	来期見込
業 況	好 転	6.3	6.3	10.6	4.3	12.8	8.3	6.3
	不 変	70.8	70.8	68.1	65.3	70.2	66.7	70.8
	悪 化	22.9	22.9	21.3	30.4	17.0	25.0	22.9
	D・I	▲ 16.6	▲ 16.6	▲ 10.7	▲ 26.1	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 16.6
売上(加工)額	増 加	22.9	12.5	31.9	13.0	29.8	25.0	
	不 変	50.0	66.7	40.4	50.0	55.3	45.8	
	減 少	27.1	20.8	27.7	37.0	14.9	29.2	
	D・I	▲ 4.2	▲ 8.3	4.2	▲ 24.0	14.9	▲ 4.2	
資金繰り	好 転	4.3	4.3	6.5	2.2	4.3	2.1	
	不 変	82.9	74.4	80.5	80.0	87.2	76.6	
	悪 化	12.8	21.3	13.0	17.8	8.5	21.3	
	D・I	▲ 8.5	▲ 17.0	▲ 6.5	▲ 15.6	▲ 4.2	▲ 19.2	
原材料仕入単価	上 昇	64.6	62.5					
	不 変	35.4	35.4					
	低 下	0.0	2.1					
	D・I	64.6	60.4					
採算(経常利益)	好 転	10.4	10.4					
	不 変	60.4	64.6					
	悪 化	29.2	25.0					
	D・I	▲ 18.8	▲ 14.6					

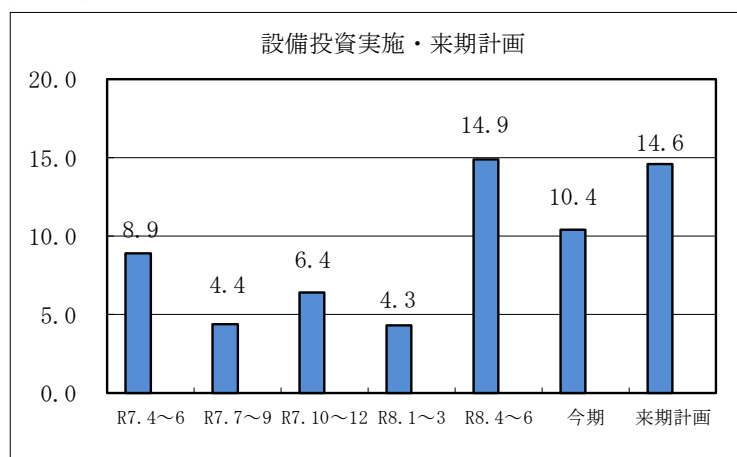
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答48事業所の内、5事業所(14.4%)が実施。
 ●生産設備、付帯施設=各2事業所、●工場建物、車両・運搬具=各1事業所

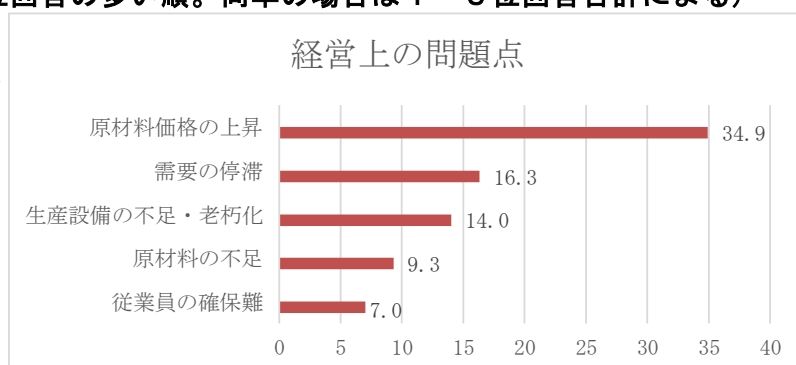
【来期計画内容】

回答48事業所の内、来期に7事業所(14.6%)が計画。
 ●生産設備=6事業所、●付帯施設=2事業所●工場建物、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位の「原材料価格の上昇」は前回から1.5ポイントの減少、2位の「需要の停滞」は前回から4.2ポイント減少した。3位の「生産設備の不足・老朽化」は0.4ポイント増加した。4位の「原材料の不足」は0.2ポイントの増加、5位は前回番外の「従業員の確保難」で2.5ポイントの増加となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前期比				
		今期	来期見込	R7. 10-12	R8. 1-3	R8. 4-6	今期	来期見込
業況	好転	3.9	2.0	7.8	4.3	0.0	0.0	7.8
	不変	76.5	82.3	78.5	72.3	72.5	84.3	78.5
	悪化	19.6	15.7	13.7	23.4	27.5	15.7	13.7
	D・I	▲ 15.7	▲ 13.7	▲ 5.9	▲ 19.1	▲ 27.5	▲ 15.7	▲ 5.9
完成工事 （請負工事）額	増加	15.7	9.8	25.5	19.1	27.5	21.6	
	不変	51.0	60.8	29.4	49.0	50.9	54.9	
	減少	33.3	29.4	45.1	31.9	21.6	23.5	
	D・I	▲ 17.6	▲ 19.6	▲ 19.6	▲ 12.8	5.9	▲ 1.9	
資金繰り	好転	5.9	2.0	7.8	0.0	3.9	5.9	
	不変	82.3	78.4	76.5	89.4	82.4	84.3	
	悪化	11.8	19.6	15.7	10.6	13.7	9.8	
	D・I	▲ 5.9	▲ 17.6	▲ 7.9	▲ 10.6	▲ 9.8	▲ 3.9	
材料 仕入単価	上昇	80.4	74.5					
	不変	17.6	25.5					
	低下	2.0	0.0					
	D・I	78.4	74.5					
採算（経 常利益）	好転	7.8	2.0					
	不変	70.6	70.5					
	悪化	21.6	27.5					
	D・I	▲ 13.8	▲ 25.5					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

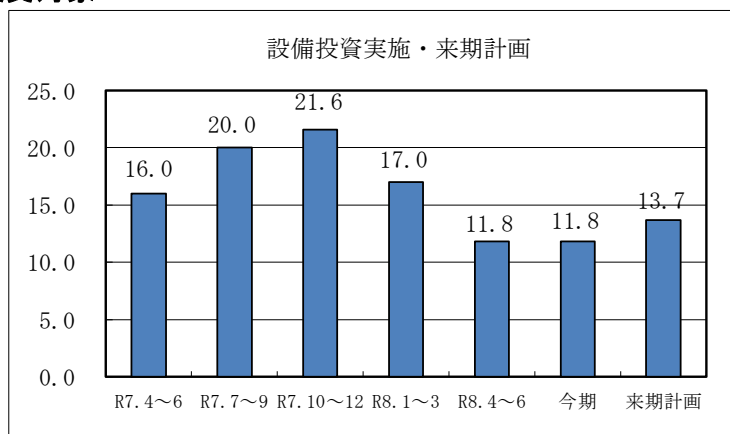
回答51事業所の内、6事業所（11.8%）が実施。

●車両・運搬具=3事業所、●OA機器=2事業所●土地、建設機械=各1事業所

【来期計画内容】

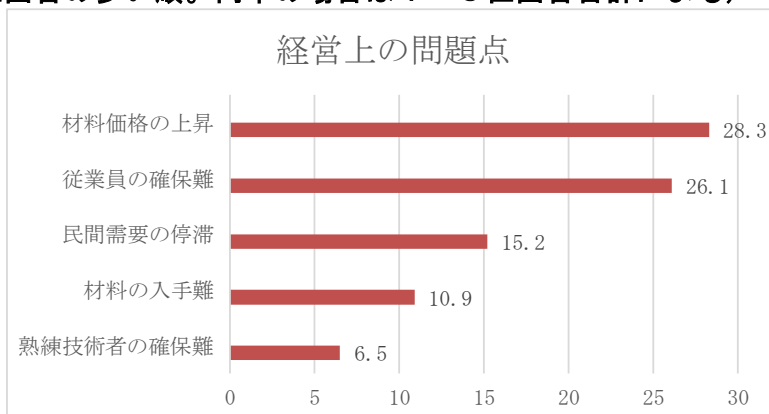
回答51事業所の内、来期は7事業所（13.7%）が計画。

●建設機械=3事業所、●車両・運搬具=2事業所●土地、建物、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は、前回同様「材料価格の上昇」で16.1ポイント減少した。2位は、前回3位の「従業員の確保難」で10.5ポイント増加した。3位は、前回4位の「民間需要の停滞」で0.4ポイント減少した。4位は、前回2位の「材料の入手難」で2.0ポイントの増加となった。5位は、前回番外の「熟練技術者の確保難」で0.2ポイント減少した。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7. 10-12	R8. 1-3	R8. 4-6	今期	来期見込
業 況	好 転	10.5	7.1	5.9	3.6	4.7	11.6	4.8
	不 変	58.1	58.8	60.0	63.1	58.8	55.8	65.4
	悪 化	31.4	34.1	34.1	33.3	36.5	32.6	29.8
	D・I	▲ 20.9	▲ 27.0	▲ 28.2	▲ 29.7	▲ 31.8	▲ 21.0	▲ 25.0
売上額	増 加	18.6	9.4	18.8	17.9	24.4	24.4	
	不 変	46.5	63.5	36.5	33.3	31.4	43.0	
	減 少	34.9	27.1	44.7	48.8	44.2	32.6	
	D・I	▲ 16.3	▲ 17.7	▲ 25.9	▲ 30.9	▲ 19.8	▲ 8.2	
資金繰り	好 転	4.8	3.7	1.2	3.6	1.2	6.0	
	不 変	69.9	70.7	68.2	71.1	76.2	68.7	
	悪 化	25.3	25.6	30.6	25.3	22.6	25.3	
	D・I	▲ 20.5	▲ 21.9	▲ 29.4	▲ 21.7	▲ 21.4	▲ 19.3	
商 品 仕入単価	上 昇	67.4	68.2					
	不 変	27.9	28.3					
	低 下	4.7	3.5					
	D・I	62.7	64.7					
採算(経 常利益)	好 転	10.5	9.4					
	不 変	56.9	55.3					
	悪 化	32.6	35.3					
	D・I	▲ 22.1	▲ 25.9					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

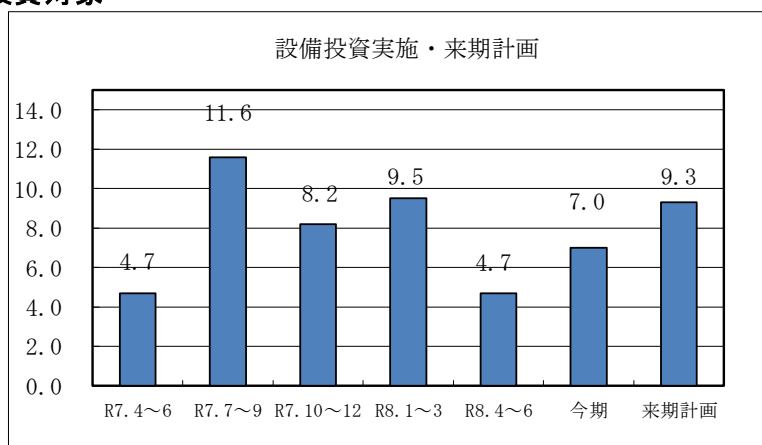
回答86事業所の内6事業所(7.0%)が実施。

●車両・運搬具=3事業所 ●店舗=2事業所、●土地、販売設備、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

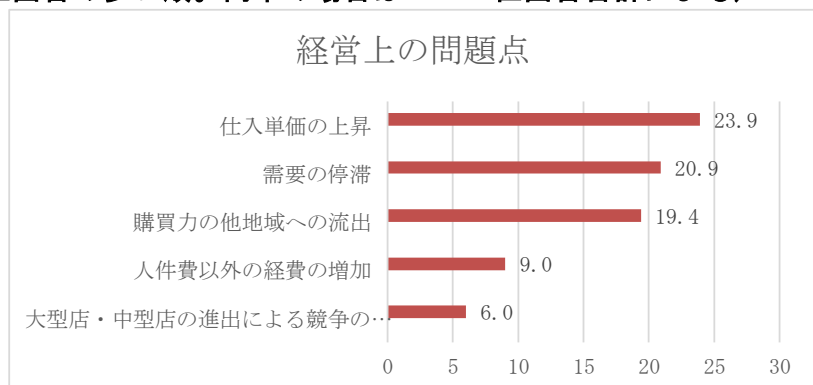
回答86事業所の内、来期は8事業所(9.3%)が計画。

●販売設備、車両・運搬具=各4事業所、●土地、店舗、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「仕入単価の上昇」で7.3ポイント減少した。2位は前回3位だった「需要の停滞」は4.0ポイント増加した。3位は前回2位だった「購買力の他地域への流出」で2.5ポイント増加した。4位は前回5位だった「人件費以外の経費の増加」で3.8ポイント増加した。5位は前回番外の「大型店・中型店の進出による競争の激化」で3.4ポイント増加した。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7. 10-12	R8. 1-3	R8. 4-6	今期	来期見込
業 況	好 転	5.6	2.8	6.6	6.1	4.5	6.5	3.7
	不 変	69.2	73.8	65.1	59.6	63.4	71.1	72.9
	悪 化	25.2	23.4	28.3	34.3	32.1	22.4	23.4
	D・I	▲ 19.6	▲ 20.6	▲ 21.7	▲ 28.2	▲ 27.6	▲ 15.9	▲ 19.7
売上(収入)額	増 加	19.6	15.9	18.7	12.7	22.3	23.4	
	不 変	52.4	57.9	51.4	48.1	48.2	53.2	
	減 少	28.0	26.2	29.9	39.2	29.5	23.4	
	D・I	▲ 8.4	▲ 10.3	▲ 11.2	▲ 26.5	▲ 7.2	0.0	
資金繰り	好 転	3.8	3.8	4.8	5.1	5.5	4.8	
	不 変	75.0	77.9	73.3	62.6	69.7	77.9	
	悪 化	21.2	18.3	21.9	32.3	24.8	17.3	
	D・I	▲ 17.4	▲ 14.5	▲ 17.1	▲ 27.2	▲ 19.3	▲ 12.5	
仕入単価(材料等)	上 昇	65.4	61.7					
	不 変	34.6	38.3					
	低 下	0.0	0.0					
	D・I	65.4	61.7					
採算(経常利益)	好 転	6.5	1.9					
	不 変	64.5	67.3					
	悪 化	29.0	30.8					
	D・I	▲ 22.5	▲ 28.9					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

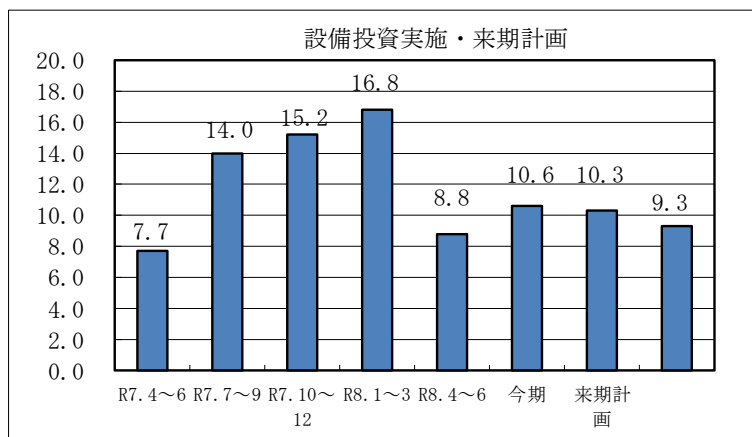
回答107事業所の内、11事業所(10.3%)が実施。

●サービス、車両・運搬具=各3事業所、●建物、付帯施設=各2事業所、●その他=1事業所

【来期計画内容】

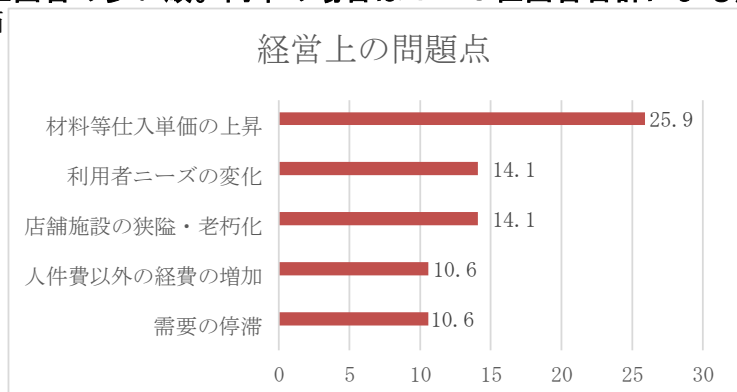
回答113事業所の内、10事業所(9.3%)が計画。

●サービス=5事業所、●付帯施設=4事業所、●建物、車両・運搬具=各2事業所、●土地、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「材料等仕入単価の上昇」で12.0ポイント減少となった。2位は前回5位だった「利用者ニーズの変化」で6.1ポイント増加した。3位は前回4位だった「店舗施設の狭隘・老朽化」で0.3ポイント増加した。4位は前回3位だった「人件費以外の経費の増加」で2.6ポイント増加した。5位は前回2位だった「需要の停滞」で3.2ポイント減少した。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

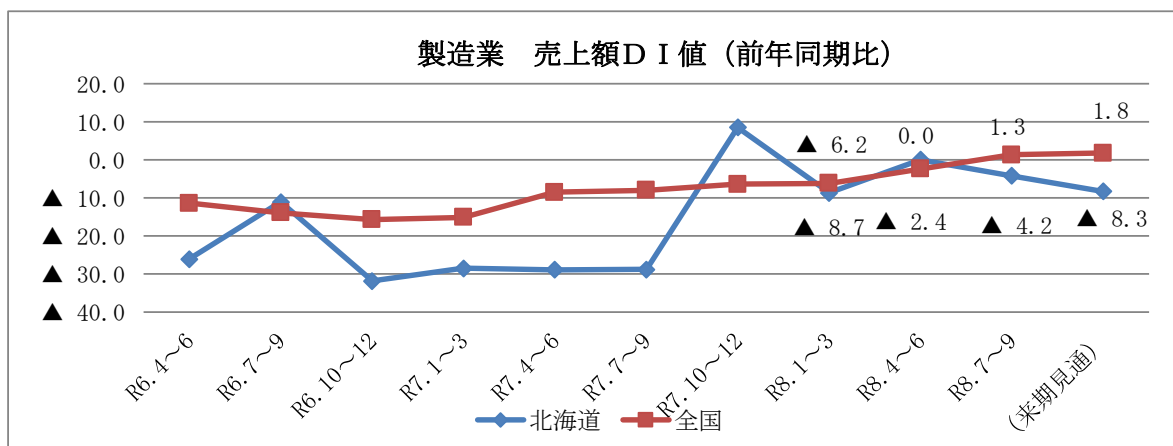
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

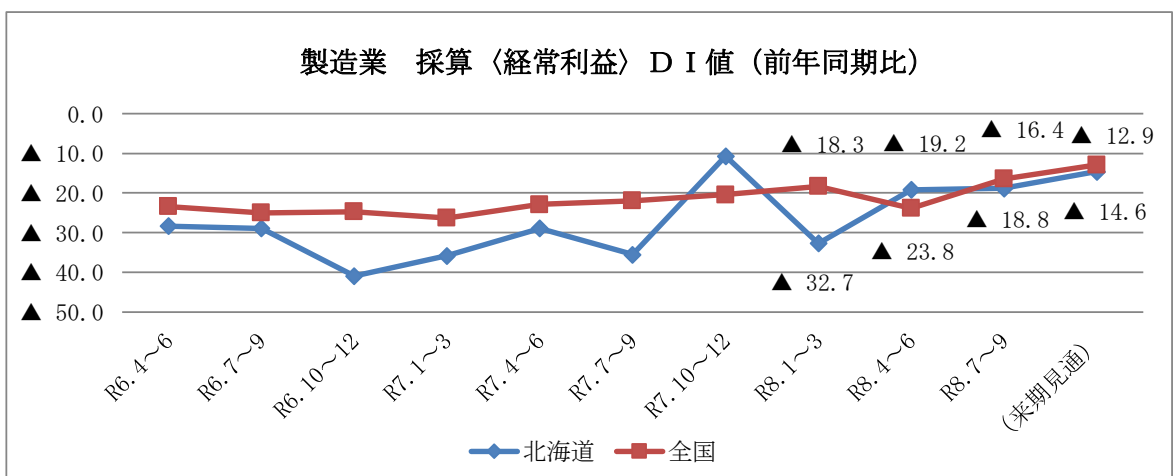
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全 国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

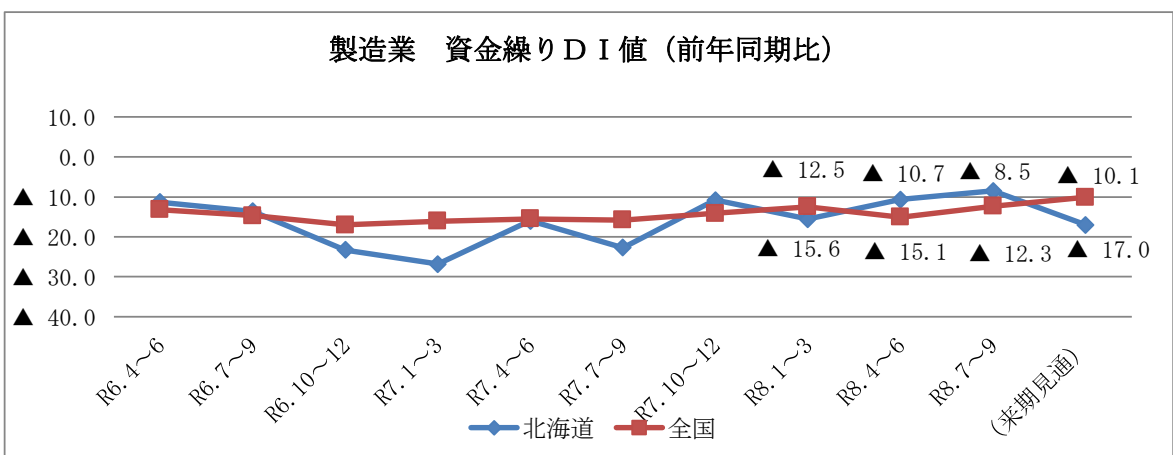
売上額



採 算



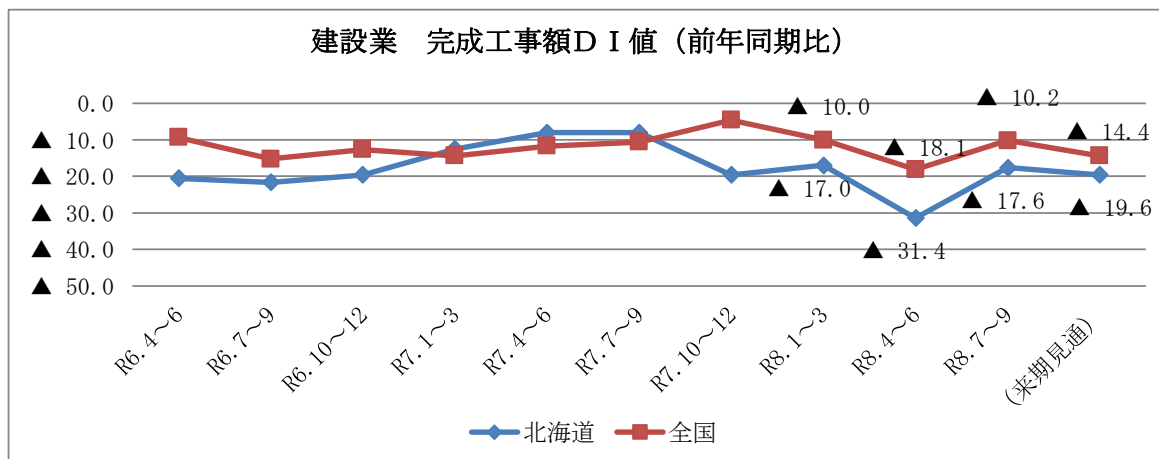
資金繰り



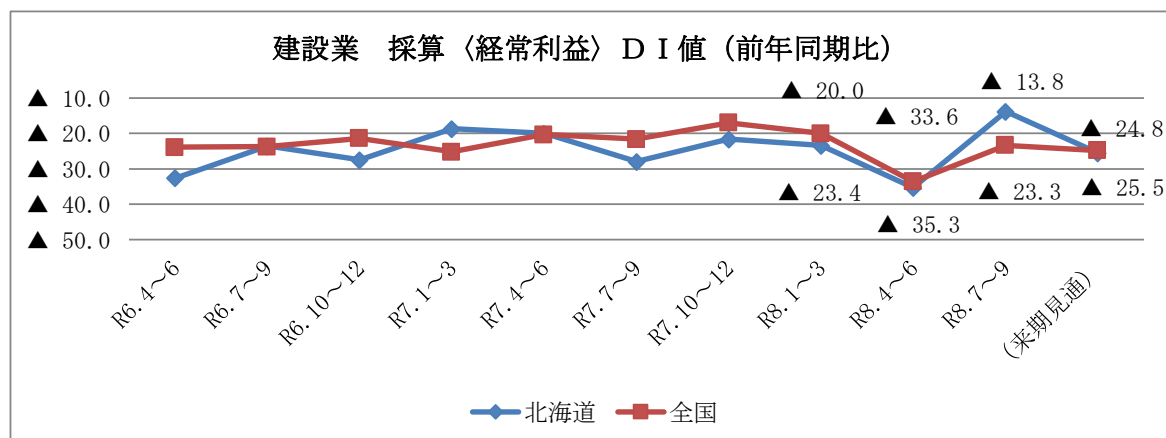
建設業

【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
【全 国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

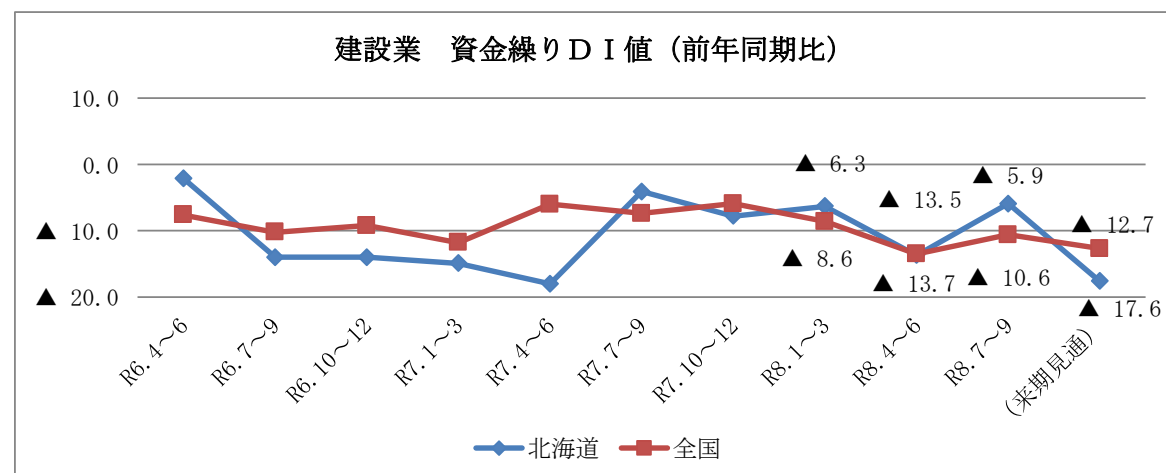
完成工事額



採 算



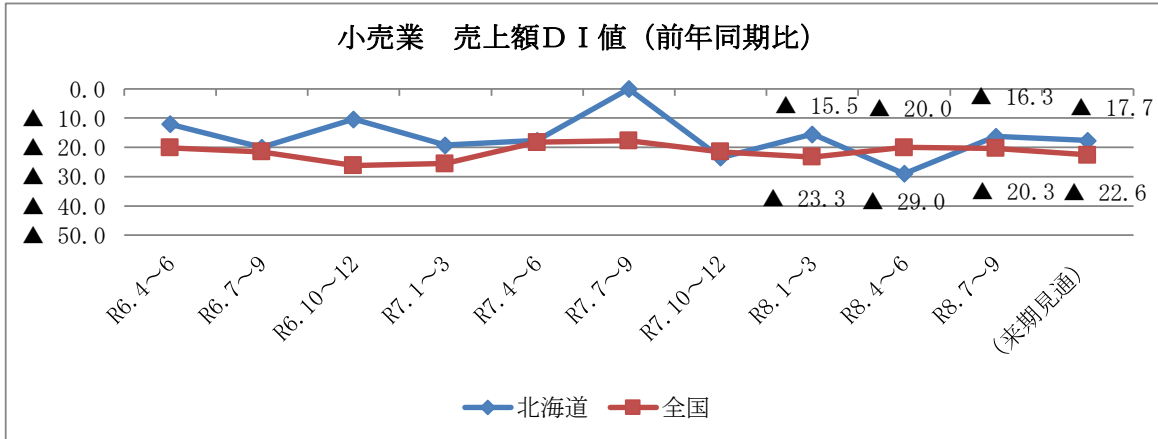
資金繰り



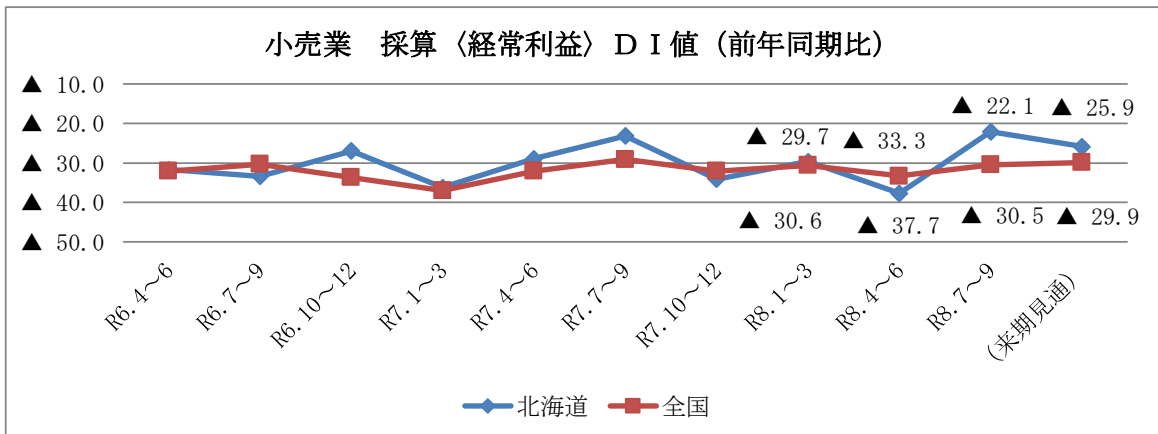
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全 国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

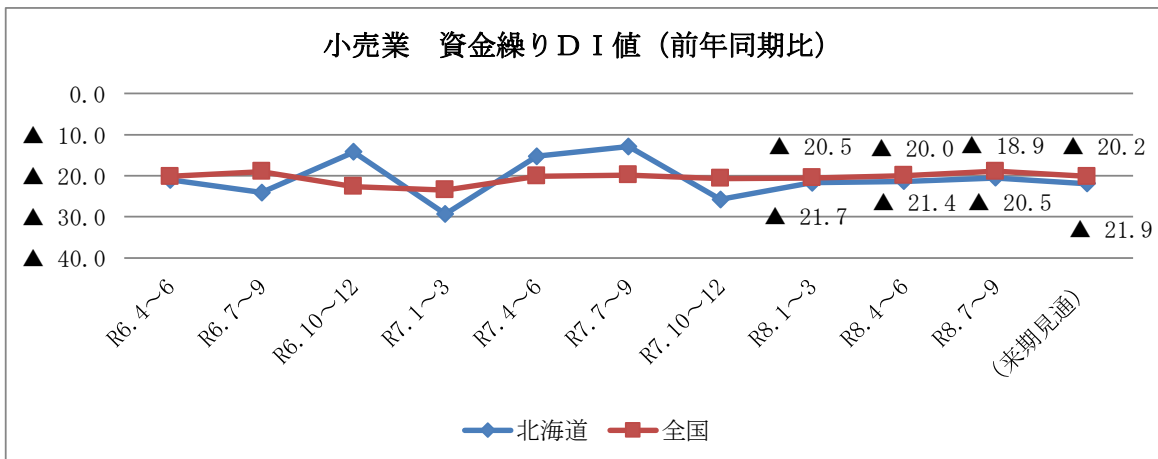
売上額



採算



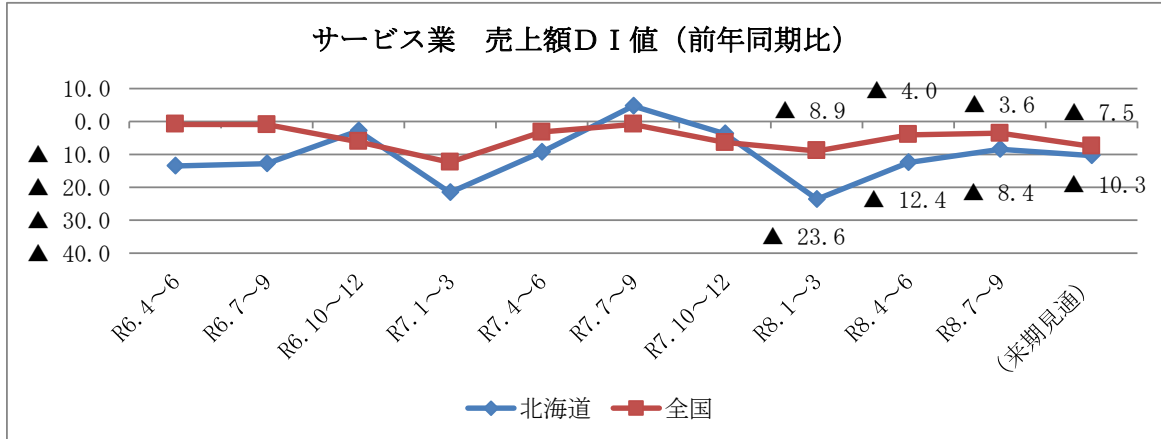
資金繰り



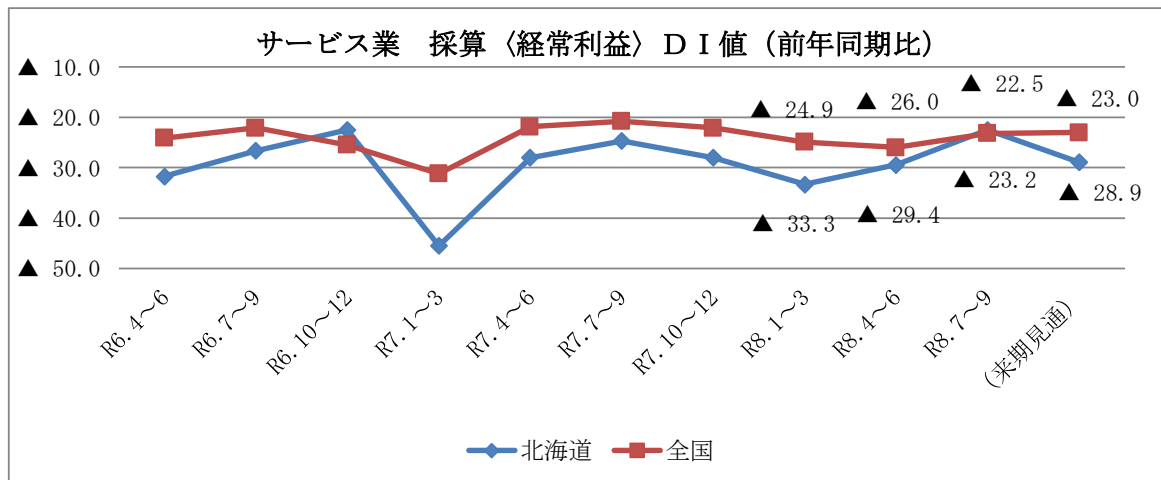
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全 国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

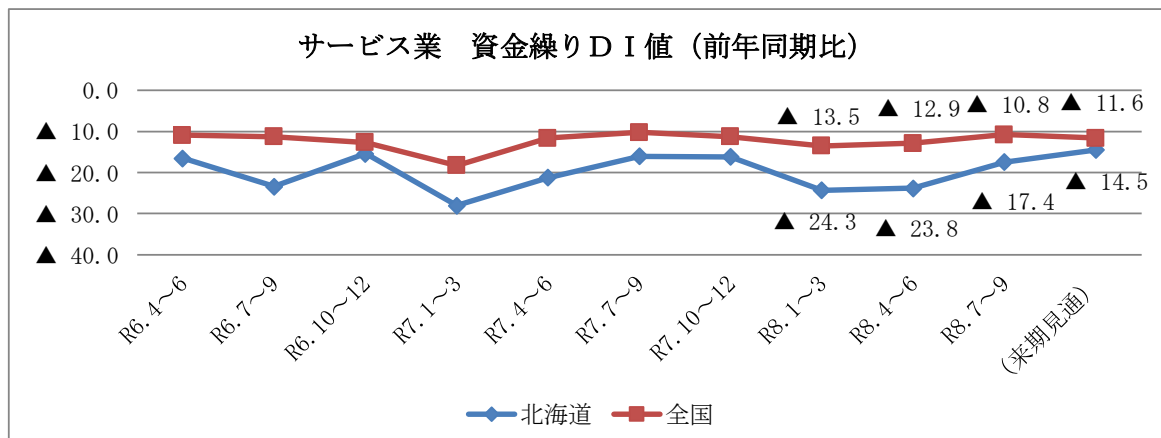
売上額



採 算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業 種	内 容
製造業	・物価高で生活するだけで精一杯で、物が売れない。まして価格転嫁は出来ない。もう個人の努力だけではどうすることも無理だと思う。 ・当店のお客様に変化はないが、世のインフレがゆるやかに進むことを期待している。 ・他社が値上げする中、弊社は値上げしていないので割安感があるため。 ・仕入れ価格がすべて値上げで商品へ価格転嫁するのが追いつかない状況になっている。 ・物価高の影響が顕著に表れている。 ・ニーズに合わせた新たな商品開発ができていない ・10月開店の大手スーパーの影響を注視。消費税の食品減税等、変化に対応して行かなければならない。 ・地元の漁港で獲れる鮮魚の数量が激減しており、加工作業売上が減少している。
建設業	・前年同期と比べ完成工事額及び受注が減少し、全体的に工事量が少なかった為。 ・建築工事については、民需の低下が著しく、今期分の事業案件は不足している傾向です。特に、今期に予定していた事業案件がコスト面から来期に延期となるケースが目立ち、前期よりも厳しい局面を迎えつつあります。 ・新幹線トンネル工事の請負があり、業況は良い状況である。 ・業況については、現在の所は大差なく進める事ができている。 ・公共仕事に関して、今後減少が心配です。
小売業	・8月に店舗兼住宅を購入し移転。10月にオープンを予定しており、資金繰りの好転が見込まれる。 ・生活必需品の値上げが続いており、節約志向が高まっていると感じる。 ・インバウンドを含め来店客が増加。ニセコは未だに観光地としての集客力があり、その恩恵を受けている。 ・期待以上に道民生活応援ポイント給付の商品券利用が増加しているものの、来期に予定している車輛と老朽化した設備の費用を賄えるほどの利益が出る効果は見込めなかった。 ・お客様の減少と商品単価の低下、売上に利益につながらない。 ・8月いっぱい近隣のディスカウントストアが1店舗閉店するものの、10月には新たに1店舗新規出店が控えており、売上面・従業員確保の面で不安がある。 ・前年7月(2025年7月)と本年7月(2026年7月)を比較して、売上は20%減少した。2026年8月に挽回しようと販売・営業に奮起したが、うまく行かなかった。 ・来店客の減少が著しく、それに伴ない売上額も減少して、店舗運営が大変になり閉店を考えています。 ・お客の減少による売上減少。
サービス業	・利用客の高齢化・人口減少による業績悪化。 ・不変と答えているのはずっと利益が少ないが続いているだけ。物価高では続けていくのがやっとです。 ・夏休み、本州からの家族連れが少ない。道内の方や海外の方は来ている。国内旅行の行き先が北海道ニセコからはなれているのか・・・？ ・様々な商品の仕入れ値が徐々に値上がりし、経営状況の悪影響となっている。 ・運転資金の借入に難はなくても、金利が上昇している現状を考えると、いかに借入をせずに効率よく掛回収に努めるのが要となる。 ・仲卸はポンポン価格を上げるが末端はそうはいかない。仕入の価格は安定しても下がったことがない。 ・燃料費等経費が増加しているので料金を上げたいが低価格の同業他店があるため踏み切れない。 ・売上は上昇しているが仕入単価の高騰、借入の返済は変わらないため苦しい状況が続いている。経費の削減はもちろん商品の値上げも変わらず行っていく。